

主催 放送大学東京文京学習センター | 後援 文京区

徳川慶喜

文京区で生まれ
文京区で没した
十五代将軍

**参加
無料**
(予約制)

没後100年特別公開講座 奥医師坪井信良の手紙にみる 幕府崩壊前後の徳川慶喜

講師 **田中正弘**

(國學院大學栃木短期大学教授・博士)

坪井信良は江戸の町医者として評判を高め、1864年幕府の奥医師に抜擢され将軍慶喜の主治医となる。信良と高岡在住の佐渡三良とは兄弟でも特に親しく、長期にわたり手紙を往復していた。その内容は肉親の兄弟でなければ書けないような感情の発露と、刻々と変化する社会の動きや自分の見聞を赤裸々に伝えているところに特徴がある。こうした手紙の何通かを読み解き、幕府崩壊前後の徳川慶喜の姿が側近の幕臣にどのように映り、如何なる期待を寄せられていたかを探ってみたいと思います。

日時 **2013年11月3日(日) 14:00~15:30**

定員 **250名**

会場 **放送大学東京文京学習センター**

文京区大塚3-29-1 東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車徒歩3分

放送大学のホームページから
ご予約ください

放送大学 検索

先着順に受け付け、定員に達し次第締め切らせていただきます。

お問い合わせは
TEL. 03-5395-8688
(受付時間/10:00~17:00、月曜・祝日休み)



2014年度 **4月**
入学生
募集中!
出願締切
平成25年11月15日~
平成26年2月28日



幕末明治
ちりめん本と古写真が語る

残日像本

主催 放送大学附属図書館・放送大学東京文京学習センター

放送大学創立30周年記念イベント

放送大学附属図書館
ちりめん本・古写真
コレクション展

入場
無料

日時 11/5火~10日

10:00~18:00 ※フロアのパネル展示は11/3(日)~11/10(日)まで

会場 放送大学東京文京学習センター2階
学生ホールおよび講義室

「ちりめん本」は明治時代に誕生した、多色木版刷の和紙に縮緬加工を施した絵入り本です。外国人向けに多国語に翻訳した日本昔噺、日本人の暮らしや風景を挿絵にしたカレンダーなどが出版され、海外に輸出されました。放送大学附属図書館が所蔵する貴重な「ちりめん本」や「古写真」のコレクションを公開します。

特別記念講演会

参加
無料
(予約制)

11/5火 14:00~15:30

『学校と書物が来た道』

講師 樺山 紘一 定員 100名
(印刷博物館館長)

印刷術が発明される前から、その後もふくめて、本と学校とは密接なつながりをもっていました。ヨーロッパ中世の大学は、写本の制作と講読のセンターでした。明治時代の日本では、学校教科書が出版活動を大いに刺激しました。神田神保町の古書店街は、その土地に出現した大学の学生たちをお客さんにします。学校と書物が開拓した豊かな道筋をたどってみたいと思います。

11/10日 14:00~15:30

『ちりめん本の生まれた時代と明治の印刷事情』

講師 山口 美佐子 定員 100名
(印刷博物館学芸員)

ちりめん本が発行された明治半ばから大正期にかけての日本は、ちょうど西歐化が進められている時代でした。印刷もその例に漏れず、新しい印刷技術が次々と取り入れられ、近代化が進められていました。長谷川武次郎によるちりめん本は、そんな時代を象徴するかのような、日本の伝統的な多色刷り木版印刷と洋式活版印刷の融合したものでした。ちりめん本の生まれた時代背景と、当時の日本の印刷事情についてご紹介したいと思います。

会場 各日とも放送大学東京文京学習センター
文京区大塚3-29-1 東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車徒歩3分
※裏面の地図を参照ください。

放送大学のホームページから
ご予約ください

放送大学 検索

先着順に受け付け、定員に達し次第締め切らせていただきます。

お問い合わせは
TEL. 03-5395-8688
(受付時間/10:00~17:00、月曜・祝日休み)

